

平成25年度「大気環境保全活動功労者表彰」受賞者一覧(敬称略)

| 推薦者 | 団体 | 個人 | 主な功績 |
|-----|----|---------------------------|---|
| 長野県 | | ヒロサワ 廣澤 イ イチロウ 伊 一郎 | 昭和46年より長野県職員として大気環境に関する調査・研究に従事し、特に長野県内の大規模工場における黒鉛電極製造工程、アルミ製錬工程から発生するフッ化物やばい煙に関する調査・研究の成果は、大気汚染問題の解明に大きく貢献した。またスパイクタイヤ粉塵問題やアスベスト問題も調査・研究に取り組み多大な成果を上げている。定年退職後も民間企業において引き続き環境問題に取り組んでおり、大気環境の保全に多大な貢献をした。 |
| 大阪府 | | スズカ タカシ 鈴 鹿 孝 | 昭和47年より大阪府職員として大気環境保全行政に従事し、国に先駆けて窒素酸化物総量規制を導入した大阪府大気清浄化計画(昭和48年)、大阪21世紀の環境総合計画(平成14年)の策定を手がけたほか、現在の大阪府の大気常時監視システムの構築には初期から携わるなど、これまで大阪府の大気環境保全行政をリードし、多大な貢献をした。 |
| 徳島県 | | カノウ ケンジ 加 藤 研二 | 自家用自動車の依存度の高い地方都市において、公共交通機関の利用促進などに取り組むことで大気汚染物質等の排出を抑制し環境負荷の低減を図るため、地元企業や行政などととも、渋滞の緩和などを目的として平成20年に徳島市や阿南市でノーマイカー通勤による社会実験を行い、課題を把握するなど大きな成果を上げるとともに、その後も継続して、徳島県におけるモーダルシフトの推進に向けた取組を行ってきた。 また、交通計画や都市計画の学術研究に加え、徳島県内における多くの環境関係会議の委員を務めており、政策面においても重要な役割を担ってきたなど、顕著な功績をあげた。 |
| 大分県 | | ミヤゾノ マサトシ 宮 園 正敏 | 昭和46年より大分県職員として大気環境保全業務に従事し、新産都計画時における環境問題に対する県民の関心が高まる中、PbO2法による硫黄酸化物の測定など特に大気環境の検査、環境調査に尽力した。また昭和47年1月から観測点8局においてテレメータシステムによる常時監視を開始したが、当初から同システムの維持管理・精度管理に尽力・奔走した。さらに大気汚染防止法及び大分県公害防止条例に基づき、事業者に対する大気規制基準の指導を徹底してきたことなど、大気環境の保全に多大な貢献をした。 |
| 神戸市 | | モリモト マサユキ 森 本 政之 | 平成18年より「神戸市環境保全審議会」の委員として、主に大気・騒音環境分野を中心とした、健全で快適な環境の確保に関する事項について審議に携わってきた。また、健全で快適な環境の確保に関する基本的な計画である「神戸市環境基本計画」の改訂時(平成21、22年度)には、環境基本計画の改定に係る専門部会の部会長も務め、取りまとめに際し中心的な役割を担った。さらに大気・騒音環境に関する深い理解と幅広い学識を基に現在まで神戸市の環境行政に対して、有益かつ先見的な助言・指導を多数いただくなど、多大な功績を挙げた。 |

団体 0

個人 5

合計 5